

バックスリーグとは！！

趣旨	普段親交のあるチームとリーグ戦を行うことで、より一層切磋琢磨し技術の向上を図り、選手たち自身がサッカーを通して、感じ、考え、行動ができるようになることを目的とする。勝敗はつきませんが、選手たちが積極的にサッカーができる環境を全チーム協力して提供していく。
リーグ名の由来	“バックス”とはリーグ創設者の山形監督の愛称です。サッカーバカなスタッフの集まるリーグという意味も含まれており、各チームが、共に成長していくリーグです。
会場	参加チーム提供グラウンドによる
日時	1月～12月の各グラウンド
参加チーム	九条南FC 他全9チーム
大会形式	▽参加全チームによるリーグ戦方式。 ▽順位は勝点(勝ち:3点 引き分け:1点 負け:0点)→当該戦績→得失差→総得点の順で決定。 ▽全試合を公式戦扱いとする。何度同じチームと対戦しても勝てば勝ち点はカウントされる。 ▽全試合15分-3分-15分。8人制。
表彰	☆優勝 ☆準優勝 ☆第3位 ★MIP (Most Impressive Player)→各チーム1名ずつ。チーム推薦。 ☆山形賞・南賞・松下賞(会場設営・片付け・試合への取り組み、またバックスルールに対して積極的に取り組んだ選手)→各賞1名ずつ。 ★優秀選手賞→各チーム1名ずつ。チーム推薦。

バックスルール

【参加選手に対して】

- ①参加選手全員ができるだけ同じ時間、試合に出場できるように配慮すること。
- ②試合を通して(割り当てられた3～4試合の中で)、特定のポジションだけでなく、様々なポジションにつくように配慮すること。
- ③失敗をおそれず、何度もチャレンジする精神をバックスリーグを通して育むこと。
- ④サッカーは一人ではできません。サッカーを通して、他のチームも含めて仲間を作り、認め合うこと。

【指導者・保護者に対して】

- ①試合中のベンチからの指示・声掛けはできません。オーバーコーティングは厳禁。
- ②試合時は、両チームの指導者は、同じ場所(交代ゾーン辺り)で観戦し、試合観戦を通して情報交換・積極的なコミュニケーションを行うこと。チームベンチは選手のみとすること。
- ③“なぜできない”“下手くそ”などの言動・暴力行為等、選手が萎縮するような対応は一切行わないこと。
- ④ハーフタイム時には、子どもたちに考えさせ、自発的に話し合う機会をまず設けること。
- ⑤“今できる選手・今うまい選手”だけでなく、始めたばかりの選手が積極的にプレーに関われるリーグにしていこう。

“みんなで協力”

サッカーを通じて、“その場”にいるみんな(ここに選手・指導者・保護者の別はない)はみんな仲間。そのみんなで子どもたちのサッカーをする場(ピッチやサッカーをする上で必要な環境)を整え、維持し、次の誰もが使っても気持ちよくなる場所にしていく。それがバックスリーグ。

同じサッカーをプレーする仲間を、お互いに、認め合える、尊敬し合える、尊重し合える。

そして、負けたくない気持ちを育む。その気持ちを一人のコーチだけが育てるのではなく、みんなで育てる。それがバックスリーグ。

“サッカーとグラウンドは子どもたちのもの”

子どもたちが主役。笑顔あふれる楽しい場所。コーチは脇役。保護者も脇役。大人のストレスの発散の場所ではないはず。一つの言葉が子どもたちの背中を押す場合もあれば、サッカーを奪ってしまうことにもなる。だからこそ、こんな世の中だからこそ、誰もがポジティブになれる言葉を考えよう。

参加資格	○所属チームでスポーツ傷害保険に加入している 3年生以下 の選手。 4月～は4年生以下の選手 。
運営方法	▽第1試合・第2試合のチームが会場設営をお願いします。 ▽第4試合(最終試合の1つ前の試合)の両チームで片付けをお願いします。 ▽荷物置き場の管理と撤収後の清掃は各チームで行ってください。
その他	○ 会場内の駐車は原則不可 となっています。近隣の有料駐車場へお願いします。 路上駐車も厳禁 です。チーム内で周知徹底してください。